

## 会 議 錄

会議の名称	令和7年度第2回川越市オーバーツーリズム対策懇談会
開催日時	令和7年10月27日（月） 16時00分 開会 ・ 17時50分 閉会
開催場所	北公民館 1・2号会議室
出席者	別紙「出席者一覧」参照
事務局（観光課）職員 職 氏 名	課長 榎本 学、副課長 関根 英昭、館長 横山 大造 副主幹 杉本 弘、副主幹 加藤 剛史、主査 遠藤 大介 主査 山田 英司、主任 仲田 由香里
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 令和7年度の取組みについて</p> <p>①国補助金を活用した具体的対策の状況について</p> <p>②一番街における歩行者天国の試行的実施について</p> <p>③「川越観光のこころえ」について</p> <p>(2) 個別協議の実施状況について</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 意見交換</p> <p>①歩道の円滑化、危険防止について</p> <p>②ごみ・環境美化対策について</p> <p>③マナー対策について</p> <p>(2) 各団体の取組み予定について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
配布資料	<p>次第・出席者名簿</p> <p>会場図</p> <p>資料1：川越市オーバーツーリズム対策事業</p> <p>別紙1：川越市オーバーツーリズム対策事業一覧</p> <p>別紙2：一番街における歩行者天国の試行的実施について</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局・関係課	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 川越市産業観光部長あいさつ</p> <p>川越市都市計画部参事あいさつ</p> <p>※当懇談会の進行について説明 事務局が進行を行い、スクリーンへの投影と手元の配布資料で説明をした後、意見を頂戴する形で進行することを説明。</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 令和7年度の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①国補助金を活用した具体的対策の状況について 資料1_P 2～15、別紙1の説明</li> <li>②一番街における歩行者天国の試行的実施について 別紙2の説明</li> <li>③「川越観光のこころえ」について 資料1_P 17～25の説明</li> </ul> <p>(2) 個別協議の実施状況について 資料1_P 27の説明</p> <p>質疑応答：(1) 令和7年度の取組みについて P7 観光振興計画の中で、川越観光に対する満足度の年度内目標値が71.5%とあるが、現状はどのくらいあるのか。</p> <p>令和6年度実績値も71.5%である。</p> <p>令和7年度の取組みについて、市民の方々からリアルな評価をいただいた実績はあるか。</p> <p>スマートごみ箱の設置は、観光客の方から感謝いただいた。5月の大型連休の際も、観光客の方から「ここにごみ箱があって良かった」という意見をいただいた。</p>
委員	
事務局・関係課	
委員	
事務局・関係課	

	また、肌感覚ではあるが時間の分散化はある程度進んでいるのではないかと考えている。市役所の南北駐車場では、満車時刻と満車解消時刻の記録を取っているが、以前よりも満車解消の時刻が延伸されている状況である。
委員	令和8年度事業は実施することが増える印象を受けた。上手くいかない事業も出てくるかもしれないが、それがダメというわけではなく、今後どうしていけばいいのかという課題になる。令和8年度の事業を計画的に進められるように市民としてお手伝いできるところはしたい。何よりも皆さんと一緒に取組んでいければいいと考える。
委員	令和8年度の事業の中で実際に実施できそうなものがあれば教えていただきたい。
事務局・関係課	現在予算要求中のため現時点では未定。しかしながら今年度実施している市有地利活用の調査委託については、2月頃には結果が出て、来年度はその結果を基に精査し、具体的に動いていく形になる。そのため予算については未定だが、こういった形で来年度も引き続き動いていく事業もある。
委員	昭和の街の無電柱化はどのくらい進んでいるのか。
事務局・関係課	昨年度無電柱化の方策検討を行い、今年度は道路予備設計で主に道路構成の検討を行っている。引き続き検討していく必要があり、検討を重ねた後に整備を行う予定である。
委員	北部市街地にコインパーキングはどのくらいあるのか。
事務局・関係課	一番街の中では3か所把握している。そのうちの1か所が先ほど話があった市有地活用を検討しているコインパーキングである。
委員代理	大正浪漫夢通りは一般道路であるにもかかわらず、石畳であるため、観光客は車が通る感覚がなく道の中央を歩いている人も多い。一番街を歩行者天国にすることでその周辺道路の危険度が増すことも危惧している。
事務局・関係課	交通規制は地域の皆様の生活に影響が大きいため、まずは

	<p>最も人と車が錯綜している一番街について試験的に実施している。ただし、周辺道路の安全対策も非常に重要な課題と考えている。そのため、11月も周辺道路の入り口に交通誘導員等を配置し、住民や関係者の方以外の車両は迂回を促すことで安全対策を図っていく。</p>
委員	<p>5月の歩行者天国のアンケート結果はある程度想定された通りの結果だと考えている。11月の実施後も引き続き地域の方のご意見を伺いながら進めていくことだが、どういう場を設けて意見を聞くのか。また、今は国の補助金があるが、今後補助金がなくなった場合にどのように続けていくのか、やめてしまうのか伺いたい。</p>
事務局・関係課	<p>まず一番街沿道の店舗・事務所・駐車場関係者、21の北部市街地自治会内の住民、観光客にアンケート調査を実施する。それを基に北部自治会の住民の代表者で構成される協議会で検討をする。そのほか、必要に応じて懇談会や商店街の皆様にご意見を伺い進めていく。</p> <p>また、今後の予算については重要な問題である。今後、観光客の方から適切な形でどのように負担いただくのか、庁内で検討を進めているので、歳入についても確保を検討しながら進めていく。</p>
委員	<p>質疑応答：（2）個別協議の実施状況について</p> <p>クリーンアップ委員会の委員として補足すると、清掃活動をするのは当たり前のことだとは思うが、それ以上に商店街の横の繋がりを強くすることをねらいとして考えている。そこから波及して、市民の方にも活動の輪を広げていければと考えている。</p>
委員同行者	<p>川越ファンクラブが始動した際に、ファンクラブ会員が清掃を行ふこともできるか。</p>
委員	<p>他の団体とも一緒にできたらという話もしているので、可能だと思う。</p>
	<p>4 議題</p> <p>(1) 意見交換</p> <p>資料1_P30、31の事前アンケート結果を紹介</p>

事務局・関係課	<p>①歩道の円滑化、危険防止について</p> <p>昨年度は歩道の混雑を解消するため、整理券システムの導入に対して補助する事業を行ったが、希望したのは2事業者のみだった。この結果を踏まえると、事業者の皆様の真意を汲み取れていなかったと感じている。今現在も休日等は一番街の歩道に人が滞留しており、通りづらい状況が発生している。この課題についてはクリーンアップ委員会でも協議しているが、なかなか良い案が出ない状況である。委員の皆様からも、アイデアや他市の事例等この場で共有いただきたい。</p>
委員	<p>個人的には反対だが、事故を防止するための解決策としては歩行者天国にするしかないと思う。現在は北部市街地交通対策連絡協議会を中心に話し合っていると思うが、バス会社等、もう少し色々な人と話せる機会があれば、多くの意見が出てまとまりが出てくる可能性もあると思う。</p>
委員代理	<p>一番混雑している道の周辺にもお店があるが、あまりそちらに人が流れていない。裏道・脇道にもお店があることをいかに観光客に知ってもらうか、興味を持ってもらうかが重要。10%の人が分散されるだけでも効果はあると思う。</p>
事務局・関係課	<p>委員のご意見はおっしゃる通りではあるが、一方で歩行者天国にしてしまうと、やはり迂回路にかなり負担がかかるので、北部市街地交通対策連絡協議会でご意見をいただいている。なかなか歩行者天国にするというのが難しく、市としても丁寧に進めている。</p> <p>委員代理のご意見については、寺町通りや同心町通り等に公共施設や人気のお店もあるため、観光課としても観光客の分散化に努めていく必要があると改めて感じた。</p> <p>バス会社で運転手から最近の一番街について、危ない状況であるといった話を聞くことはあるか。</p>
委員代理	<p>当社では恒常的にそういった報告を受けている。土日中心になるとは思うが、一番街の400mの運行を最徐行で通行せざるを得ない状況であり、運行にかなりの影響が出ている。折り返しの時刻には幅を持たせているが、それでも影響が出ている。</p>
委員	<p>当社も同様に最徐行で運行しているが、つい先日も、歩行</p>

	者が急に車道側に出てきて少し接触してしまうという事案があった。運転手には十分注意するよう伝えているが、なるべく何か対策をしていただきたい。
委員同行者	一番街の美化委員会等で検討していく中で、店内に行列を引き入れるため、内装を変えて動線を引き入れたお店が何件かあったと思うが、動線を引き入れたことでその店の行列 자체が減った印象もあるので、ご苦労等があれば伺いたい。また、そのように動線を変更してくれたお店に対して評価する取組み等をしていればご紹介いただきたい。
事務局・関係課	町並み委員会が定めた町づくり規範の中では、店内に行列を引き込むことや、軒下空間を開放して連続させ、公共的に使っていきましょうという、町づくりに絡めた商いの方法についても基準がある。市でも伝統的建造物保存地区内の建物改修をする際の許可にその基準を転用している。また、都市景観表彰のような形で町づくりに寄与していただいた建物を表彰する制度も持っている。しかしながら、新築や大きな増築が目立ち、課題に対して改善をいただいているところを評価の対象として見ていかなかったところもある。今後は3年に1度行っている都市景観表彰の中で、改善いただいたところも含めて、市としても評価を手伝っていきたい。
委員	浅草では空き店舗になっているところに資金を出し合って改修し、ごみ箱を設置し他で購入してきた食べ物を食べられるようにすることで食べ歩きを防止している。
事務局・関係課	その場合、台東区から改修費用の補助等は出ているのか。
委員	補助金等はなく、その商店街の心意気で実施している。
事務局・関係課	このテーマについては市としても解決策を悩んでいるところなので、他にも事例等があればご一報いただきたい。
事務局・関係課	②ごみ・環境美化対策について 昨年度川越クリーンアップ委員会が鍛冶町広場にスマートごみ箱を設置し、まちづくり川越も同様に、指定管理で運営している小江戸蔵里でスマートごみ箱を運営いただいている。

	こういったごみ対策を行っていただいているが、何か事案などあれば意見をいただきたい。
委員	実際の観光客の流れだが、一番街を中心に食べ歩きをして、小江戸蔵里でも大量に捨てている状況。そのため、スマートごみ箱を設置することは一定の効果が出ていると考えている。本川越駅・川越駅の観光案内所でもごみ箱についてよく聞かれるが、駅まで来てしまうと案内できる場所がない。そのため、「ごみは持って帰るもの」という意識付けができないか考え、不織布のオリジナルエコバックを作成し1月に渡していた。これを11月の歩行者天国に合わせて観光案内所で再配布する。数も少ないのでどれだけ効果があるかわからないが、観光客1人1人が最初からごみを持ち帰るという意識を持ってもらうきっかけになればと考えている。
事務局・関係課	委員から、観光客のごみが駅の方にいっているという話もあったが、実際に川越駅で一番街や観光地のごみが駅のホームで捨てられている等の状況は発生しているか。
委員	どこの商店街で発生したごみかは特定できないが、ホームやホームの下、コンコース内に散乱することや、トイレに置いて行かれることも見受けられる。駅の係員や委託している清掃業者で掃除している状況。
委員	我々の路線も同様で、どこかの商店街で発生したごみが駅構内やトイレ、時には線路内にも捨てられることがある。特に川越まつりのような多くの観光客が来訪する際には制御が効かないため、まつり期間中は駅構内のごみ箱を一時撤去している。自動販売機横のごみ箱も蓋をして使えないようにしている。
事務局・関係課	最近の美化委員会の活動についてご教示いただきたい。
委員代理	ここ最近の大きな進捗はない。自店で出したごみではなくても預かることは常日頃から各店がやっているが、実際に先ほど話があったように皆様のところにごみがいってしまっているのは申し訳ない。ただ、個人的には自分で買ったものごみは持ち帰るというのが購入者のモラルだと思うので、そういう観点でも今一度考えて活動していかねばと思う。

事務局・関係課	<p>③マナー対策について</p> <p>市では昨年度作成したマナー対策動画等の周知徹底を図っているところである。例えば外国人にマナーを守ってもらえるよう、観光バス会社に映像を送って旅前に見てもらう対策をしているが、まだまだ周知されていない。外国人のマナーが良くないという声も観光課に寄せられている。そのため、他にも良いアイデアがあればご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>マナーを啓発される側ではなく、する側が重要だと考えており、啓発する側が無頓着であると全く伝わらない。我々商店を営んでいる者はその責任があるのではないか。捨てる人が悪いという前提はあるが、やはり我々商店としての一軒一軒もさらに何か手を打っていかなければならない。ただポスターを作つて貼るというだけではなく、伝える側として我々の感覚をもう少し研ぎ澄ませる必要があると考える。</p>
委員	<p>来てよし、住んでよし、営んでよしということで、川越が川越らしくあり続けるためにどうしたいかを、現在 DMO 川越で作成している「こころえ」にきちんと記しておかなければならない。そして事業者・住民としてどのように観光客をお迎えするかについても、こころえの中でしっかりと皆様にお示しすべきだと考えている。これからブラッシュアップし、最後に川越市からお墨付きをいただきたいと考えている。</p> <p>また、具体的対策の7と8が縦割りなのが残念で、両輪で考えても良いと思うが、市はどう考えているか。これは市でやる、これはこころえでやる、といった棲み分けがあるのか。</p>
事務局・関係課	<p>現在のところ7と8は事業が分かれているが、たしかに両方とも関連している事業だと考える。こころえを定着させることによって、ごみのポイ捨て等も減っていくと思いますし、そういった意味では繋がっている事業だと思うので、この場では確定的なことは言えないが、効果が出るような形で考えていいければと思う。</p>
委員	<p>市の方で動画やステッカー等を作成しているのも我々は把握していない状況だったので、そういったことも包括して実施した方が伝わりやすいのではと思う。補助事業としては7と8は分かれているが、市内で周知する際には一緒に行つた方が効果があると考える。そして商店街や住民の方にもぜ</p>

	ひ賛同いただきたい。
事務局・関係課	<p>ここまで3つのテーマとも、なかなか特効薬のような解決策は見いだせない状況であるため、委員の皆様の忌憚のないご意見が非常に貴重である。懇談会後でも構わないので、何かアイデア等があれば、観光課にご意見をお寄せいただければと思う。貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>(2) 各団体の取組み予定について</p> <p>資料1_P30、31のアンケート結果や、本日の協議を経て、今後の取組みについて何かアイデア等があればご意見を頂戴したい。</p>
事務局・関係課	<p>アンケートの内容で「バス車内での啓発ポスター等の掲示」とあるが、こちらについては観光課で依頼した場合、無償で掲示いただけるものか。</p>
委員代理	<p>バス車内のマナーに関する啓発ポスターになるのか、川越に訪れる方へのマナー啓発になるのかによって差が出てくると思われるが、我々も課題解決に向けて協力させていただきたいと考えている。</p>
委員	<p>はつかり商店街は飛び地の商店街で、一番街からは少し離れ、他の商店街に入れない方達もはつかり商店街として盛り上げていこうと頑張っている。会員数がまだ少ないと、観光客の方が札の辻を境になかなか来てくれないため、色々なイベントの開催やはつかり商店街のマップを作成する等、高齢者や1人で孤軍奮闘しているお店の方達も一緒に何かできる取組みを考えている。</p> <p>観光客だけでなく、住民も商店街も連携できるような企画を、皆さんとできたら良いと考えている。ただ、資源も資金も少ないので、もしご協力をいただける場合はご連絡いただきたい。</p>
委員	<p>小江戸川越観光協会では、現在中心市街地のみを掲載している散策マップを改良し、市内全域を掲載したマップを作成する予定。観光協会と、まちづくり川越の観光案内所の方、観光課で定期的に内容について話し合いを行っている。</p> <p>また、まちバルを実施することになったので、詳細は担当</p>

	者から説明する。
同行者	オーバーツーリズム対策事業の補助金を活用し、まちバルを実施する。日中から夜に観光客を分散するため、16時以降に各店舗で1,000円の宵川セットを出し、注文者はスタンプを押してもらい、お食事券等の抽選に申し込むイベント。時間的分散だけでなく、広域にも回遊いただきたいので、今回は中心市街地に加え新河岸の店舗も対象となっている。
委員	お店に直接協力をいただいているのか、商店街として受けているのかご教示いただきたい。
同行者	今回は試験的な開催なので、一番街商業協同組合、立門前商栄会、昭和の町の辺りの商店街に声をかけた。予算の兼ね合いで店舗数に制限があったが、このスタンプラリー形式が上手くいけば広げていきたい。
委員	今日DMO川越からクリーンアップ委員会に協力いただけるというお話をいただいたので、委員長にお伝えして、DMO川越と上手く連携を図れるかは委員会の中で検討していく。
事務局・関係課	できるだけ委員の皆様と連携しながら事業を進めていきたいと考えている。また、市を介さずに委員の皆様同士で連携して進めていただくという形もあるかと思うので、ぜひ事業の効果を高めるために皆様にご協力をお願いしたい。
	<p>5 その他</p> <p>事務局から事務連絡。</p> <p>本懇談会の参加にかかる移動中の事故等に備え、行事に係る傷害保険に加入していること。第3回懇談会は3月を予定していることを連絡した。</p> <p>6 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>